

UNITE
FOR
GOOD

よいことのために
手を取りあおう



2025-26 年度 山形南ロータリークラブ会長方針

「地域への奉仕を実現できるように、 感謝のエネルギーを拡散しましょう」 山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2800

RI会長：フランチェスコ・アレッツォ 2800地区ガバナー：小松 栄一 ガバナー補佐：伊藤 明彦
会長：奥村 健二 幹事：間木野 仁美 会報・史料委員会 委員長：伊藤 健二
委員：池田 等 石黒 雅知 森谷 正宏 松田 勝行 熊谷 一幸 金田 亮一

第2469回例会

2025-11/25(火) 天気(曇)

- 例会場：パレスグランデール
- 点鐘：PM 12:30 奥村 健二 会長

会長挨拶



皆さんこんにちは。地区大会など
があって久しぶりの例会になります。
今日は奨学生のリュウさんとソウさ
んの発表があります。授業や研究で
忙しい中での卓話をお願いして負担
にならなければと思っています。お
二人ともよろしくお願いします。

さて、11月23日は勤労感謝の日で
したね、もともとは古来より「新嘗祭」
という大切な祭日でした。GHQによ
つて1948年7月20日祝日法という法律が施行されま
した。戦前は国民全員がこの日まで新米を食べないという風
習が一般的だったそうです。国家神道起源とする祭日を廢
止し、名前を一新された祝日となりました。本来、11月
23日は、天皇と国民が一体となって、五穀豊穣に感謝し、
翌年の幸運を祈るという日本の伝統文化を伝える日でした。

- 司会進行 (SAA)：長沢 一好 君

- ロータリーソング：「我等の生業」

新嘗祭の新は新穀を意味し、嘗(なめ)は奉ることを意味し
ます。各地の神社でもその年の新穀新米をお供えして、一
年の実りへの感謝とともに国家国民の安寧をお祈りする
古事記にも期されている宮中恒例祭の中でも最も重要な
祭儀だそうです。私は実は知りませんでした。お米は日本人
のアイデンティティーです。私は大腸で入院してから月
何度か玄米を食べるようにしています。玄米の焚き方がわ
からない方は後でお教えします。

昨日24日にテルサで私たちの未知(道)への挑戦、2800
地区ローターアクト第2回会長幹事会に出席してきました。
ロータリー関係者10人とローターアクト7人での会議で
した、若い会員がどう社会に活動を広めていくかで討議し
ました。予算がかからないようなYouTubeでユーチューバー
になって発信していけば若者が興味を持ってくれるの
ではないかということになりました。ボランティアで動画
編集できる方がいらっしゃったら私に連絡してください。

幹事報告 高梨 徹也 副幹事

- 11月21日(金)に次年度理事選出の指名委員会が石山直前会長
を委員長に開催されました。次回の例会での年次総会で皆様
に諮らせていただきます。全会員の出席をお願いいたします。
- 11月のロータリーレートは154円です。12月は間違いなく
円安に振れると思われますので、財団の寄付がまだの方は今
月がベストかと思いますので本日例会終了後にぜひお願いい
たします。

委員会報告 浅野 裕幸 君

10月5日の山形まるごとマラソンで給水活動したことに対し、
山形市より感謝状が届きました。ご協力ありがとうございました。



石山祐介君にポール・
ハリスフェロー2回目
でのバッヂが贈呈され
ました。おめでとうござ
います。

ニコニコBOX 渡邊 清則 君

- 奥村 健二君 リュウさん・ソウさん、本日の卓話よろしく
お願いいたします。
- 池田 等君 石山さんとゴルフで親睦を深めました。
- 石山 祐介君 ポール・ハリスフェロー2回目受賞いただき
ました。
- 浅野 裕幸君 リュウさん・ソウさん卓話よろしくお願
いします。また、カンさんがインフルエンザで急
遽欠席となりました。
- 長沢 一好君 久しぶりにSAAのタスキをかけました。頑
張ります。
- 土田 貴英君 上山城の理事長の父が、新しい看板を作成し
かけました。弊社で作製いたしました。
- 渡邊 清則君 11月3日東日本実業団駅伝で息子が監督の
NDソフトウェアが13位となり、ニューアイ
ヤー駅伝に出場します。応援よろしくお願
いします。

例会場／パレスグランデール 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稻荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月曜日 山形西 山形イブニング 火曜日 山形中央 水曜日 山形 木曜日 山形北 金曜日 山形東



米山奨学生 リュウ・イハン さん

皆さま、こんにちは。本日はこのような機会をいただき、ありがとうございます。リュウ・イハンと申します。中国の河南省出身です。河南省は自然が豊かな場所で、山形と少し似ているところがあると思います。現在、山形大学の社会文化創造研究科に所属し、日本語教育を専攻しています。

趣味は音楽を聴くことと、旅行をすることです。どうぞよろしくお願ひいたします。まずは、私がどのように日本に来ることになったのかをお話したいと思います。私は大学時代、通っていた大学と山形大学が協定校だったこともあり、「絶対に日本に行きたい」という気持ちで勉強を頑張り、交換留学生として山形大学に来ることができました。山形での一年間は、本当に特別で、忘れられない時間でした。茶道や夏祭り、花火大会、温泉など、日本ならではの体験をたくさんしました。また、日本人の友達だけでなく、世界各国から来た留学生とも仲良くなり、毎日が新鮮で、とても楽しかったです。

なぜ再び山形を選んだのかというと、山形の人の優しさや、美しい風景、静かで落ち着いた環境が大好きだったからです。あと……山形の野菜と果物、そしてラーメンがとても美味しいというのも大きな理由です。

次に、「日本にどのように貢献したいか」というお話をしたいと思います。あるボランティア活動のときに、高校で中国語を教えている先生に会いました。その先生は、私が中国人だと知ると、「ぜひうちの生徒と中国語で交流してくれませんか」と声をかけてくださいました。そのときは本当にうれしくて、喜んでお受けしました。その後、高校に伺って、中国の大学生活や有名な観光地、食べ物のお話などをしました。生徒たちが楽しそうに聞いてくれて、私自身も「小さなことだけど、これも日中交流の一つだな」と感じました。また、日本での生活の中で、私は多くの日本の方々から温かい優しさをいただきました。初めてのアルバイトはコンビニでしたが、私はその店舗で初めての外国人スタッフだったそうです。店の皆さんには本当に親切で、とても気を配ってくれました。ある同僚の方は、ご家族と一緒に馬見ヶ崎で花火をしに連れて行ってくださいました。来日してまだ1ヶ月、ホームシックで寂しい気持ちがあった時期だったので、その温かさが本当に心にしました。その後は中華料理店で働きましたが、店長がいつも「最近勉強大変じゃない?」「ご飯ちゃんと食べてる?」と気にかけてくれて、常連のお客さんがお土産を持ってきてくれた時も、必ずスタッフみんなに分けてくれました。そして、短期留学が終わったときには送別会を開いてくださいり、紅花染めのポーチまでプレゼントしてくれて……今でも大切な宝物です。さらに、米山奨学生に採用していただいたことで、生活の心配をせずに勉強や新しい経験に挑戦できました。こうした多くの「優しさ」をいただいたことで、「いつか少しでも恩返しをしたい」という思いが自然と強くなり、そのため日本で働くことを決めました。たくさんの企業から、私は中国と貿易のある日本の企業を選びました。言葉や文化の違いで困っている部分を少しでもサポートできればと考えています。私にできることはまだ小さいかもしれません、留学中にいただいた多くの優しさを、今度は私が誰かに返していきたいです。そして、少しずつでも日中両国の交流や理解の促進に貢献できれば、とても嬉しく思います。本日は、私の個人的な話ばかりになってしましましたが、最後まで聞いてくださいり、本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



米山奨学生 ソン・ゲイケツ さん

皆さま、こんにちは。山形大学大学院理工学研究科田村研究室の曹羿潔です。本日は、奨学生として、将来どのように日本社会に貢献したいと考えているのか、その思いをお話しさせていただきます。

私は中国の無錫で生まれました。無錫は小籠包がとてもおいしく、景色もきれいな街です。機会があれば、ぜひ行ってみてください。

私に最も大きな影響を与えてくれたのは、母です。私がまだ幼い頃、母は日本へ留学しました。私の子ども時代は、日本からの電話と、母が日本から持ち帰ってくれた様々な話やお土産でいっぱいでした。その経験を通して、私は早い段階で気づきました。世界にはいろいろな見方や生き方があるということです。そして、ただ日本語を少し話せるだけでなく、二つの文化の背景にある気持ちや考え方を理解しようとする姿勢が大切だということも学びました。この“共感する力”が、私のすべての始まりでした。

日語学校の頃、私はさまざまなお友達と一緒に舞台劇をしました。私たちの日本語はたどたどしく、動きもぎこちないものでした。それでも、本番の舞台で観客の皆さんのお顔と、温かい拍手を見た瞬間、私ははっきりと理解しました。喜びや感動は、全世界同じです。その思いは、今いる生物学の研究室でも毎日のように確かめられています。研究室では、先輩や同期が私の誕生日にサプライズを用意してくれたこともあります。大学院に合格した時には、お祝いのメッセージやプレゼントをいただき、本当に支えられていると感じました。国籍は違っても、科学への情熱と、人としてのささやかな思いやりによって、私たちは温かい仲間のような関係になっています。これらの瞬間こそが、「人と人はつながることができる」という私の信念の確かな証拠です。

私の専門は生物学で、「小胞体ストレス」というテーマで酵母を使って研究しています。小胞体ストレスは、細胞に負荷がかかりすぎたときに起こる現象で、糖尿病などの生活習慣病とも深く関係していると言われています。大学院の2年間は短いですが、私は毎日研究室で実験に向き合ってきました。私はいつもこう思っています。たとえ自分の研究が世界を少ししか前に進められなくとも、その時間を全力で過ごしたこと自体が、私にとって大きな財産になりました。そして、その中で得た最大の収穫が「科学的に考える力」です。複雑な問題を前にした時、どう仮説を立て、どう検証し、どのように答えを導くのか。この一連の思考と姿勢は、将来社会に貢献するための大きな武器になるとを考えています。

そして現在、私は仙台小林製薬から内定をいただき、卒業後は品質管理の部署で働くことになりました。これまで積み上げてきた経験を、やっと社会に還元できるようになります。私が日本に貢献できることは、大きく三つあると考えています。

①守ること - 品質を守る責任

②改善すること - 生活をより便利にする視点

③橋渡しをすること - 日本と中国をつなぐ役割

奨学生は、私にとって経済的な支援だけではなく、“挑戦する勇気”と“信頼していただいているという自信”を与えてくれました。最後に、「守る」「改善する」「橋渡しをする」この三つを通して、私は日本社会に少しでも力になれるよう努力し続けます。ご清聴ありがとうございました。

○本日出席・前回修正出席

	会員総数	算出会員数	出席会員数	出席率
本日	49名		26名	
前回修正				
他クラブでマーク アップされた会員				

◇11月の記念日◇

会員誕生日 熊谷 一幸君・松山 啓一君・瀬野 敏和君

◇12月の記念日◇

会員誕生日 伊藤 健二君・大久保章宏君・菊川 明君